

建築・住宅 × デザイン ビジュアライゼーション

Revit と 3ds Max の連携



利用ソフト

Autodesk 3ds Max Design
Autodesk Revit Architecture



Autodesk® Revit® と Autodesk® 3ds Max® Design を連携し設計業務を改善する。

設計業務の効率化のために 3D CAD の導入が検討されていましたが、先日「Autodesk Revit」が導入されました。Revit 自体がレンダリング機能を持っているので、従来なら CG パースをおこなないと目にすることが出来なかった外観が、設計の初期段階から見えるようになりました。

施主提案や社内検討時での利用が増えましたが、そうするとレンダリング時間の増加という問題が起きました。そこで Revit のデータを 3ds Max に渡してレンダリングしたところレンダリングの時間が大幅に短縮されました！より多くの案件での提案や提案直前でも対応出来るようになり、提案力が高まりました。

以前と変わらずコンペや重要な決裁時には外部制作会社に CG パースを依頼しますが、制作会社の多くが 3ds Max を使っているのでデータがスムーズに渡せます。以前は行っていた制作途中のモデリングデータの確認や、足りないデータや資料の受渡しが少なくなりました。また自分たちで制作したパースを渡すことでイメージも伝わりやすくなり、打合せ時間も減らせました。設計士として一番重要な設計業務に集中できるようになり、設計品質の向上が図られるようになりました。

その秘密は

Autodesk 製品間ではデータロスと無駄な手間が起らないようにデータ互換性を高めています。FBX というファイル形式に書き出して、利用したいソフトで読み込むと多くの情報を引き継ぐことが出来ます。Revit から 3ds Max へは「3D モデルデータ」「質感設定」「カメラ設定」等をそのまま引き継ぐことが出来るので、データ損失もなく、お互いの意識疎通がスムーズになり、無駄な作業を減らすことが出来ます。

Autodesk®

オートデスク株式会社 www.autodesk.co.jp

〒104-6024 東京都中央区晴海1-8-10 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーX 24F

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪トラストタワー 3F

TEL:0570-064-787 (オートデスク インフォメーション センター)

© 2009 Autodesk, Inc. All rights reserved.